



2019年11月13日

各 位

会 社 名 乾汽船株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 乾 康之
 (コード番号：9308 東証第一部)
 問 合 せ 先 コーポレートマネジメント部長
 加藤 貴子
 (TEL. 03-5548-8613)

**2020年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異
 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

2019年8月8日に公表した2020年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値(2019年4月1日～2019年9月30日)と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異(2019年4月1日～2019年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期 純利益 | 1株当たり 四半期 純利益 |
|-----------------------------------|---------------|-------------|-------------|------------------------------|---------------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 10,899 | 百万円 △391 | 百万円 △477 | 百万円 △55 | 円 銭 △2.21 |
| 実績値(B) | 10,768 | 21 | △29 | 395 | 15.91 |
| 増減額(B-A) | △131 | 412 | 448 | 450 | — |
| 増減率(%) | △1.2% | — | — | — | — |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期) | 11,442 | 16 | △363 | △544 | △21.89 |

2. 2020年3月期通期連結業績予想値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------------|---------------|---------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 22,148 | 百万円 △1,013 | 百万円 △1,243 | 百万円 △809 | 円 銭 △32.53 |
| 今回発表予想(B) | 22,407 | △522 | △709 | △264 | △10.60 |
| 増減額(B-A) | 259 | 491 | 534 | 545 | — |
| 増減率(%) | 1.2% | — | — | — | — |
| (ご参考)前期実績 (2019年3月期) | 23,008 | 396 | △51 | 639 | 25.72 |

3. 差異及び修正理由

(1) 第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異理由

主に外航海運事業において、上期に予定していた船舶の入渠工事が一部下期に実施となったことで営業費用が減少し、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益について前回発表予想を上回ることとなりました。

なお、倉庫・運送事業及び不動産事業については概ね前回発表予想通りに推移いたしました。

(2) 通期連結業績予想値の修正理由

当社の外航海運事業の業績予想における市況想定は、恣意性を取り除く意味もあり、海運先物市場に連動させております。第2四半期連結累計期間の外航海運事業におけるスモールハンディ船の市況は、概ね前回発表の想定通りに推移しました。これに海運先物市場に連動させた市況前提を加味した結果、通期連結売上高は前回の業績予想を259百万円上回る22,407百万円（うち外航海運事業の売上高は、前回予想12,987百万円であったところ、今回13,243百万円へ修正）となる見通しです。通期連結営業損益は、前回予想から491百万円回復の522百万円の損失（うち外航海運事業の営業損益は、前回予想2,592百万円の損失であったところ、今回2,169百万円の損失へ修正）を予想しております。第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異において主要因であった船舶の入渠工事については、通期では実施時期の見直しを行ったものの金額想定は前回予想を据え置いております。

なお、倉庫・運送事業及び不動産事業は概ね前回想定通りに進捗する見通しです。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上